



## 寄せられた意見

No. 119

受付日	H18. 5. 16	年齢	51歳	居住 市町村名	音威子府村
件名					
<p>私は、音威子府村に住むものです。ご承知のとおり本村は天塩川の中流域に位置し、開拓の歴史は洪水との格闘であったと聞いております。</p> <p>先般の増水時も、旧河川に整備した野球場・パークゴルフ場・公園等が水没、更に北線・茨内地区が冠水しました。急激な自然環境の変化がこのような事態をもたらしたとはいえ、過去の水害を思い起こす契機となりました。</p> <p>現在下川地区で建設が進められているサンルダムは、天塩川中流域の洪水調整に有効である聞いております。河川管理の手法や環境保護の観点から多様な意見があることは承知しておりますが、天塩川が生活空間と密着している地域に住む私たちには、安全な暮らしを保証するサンルダムの早期完成が必要と考えます。</p> <p>私も自然環境等を保全する考えには賛成ですが、重要なのは災害を未然に防ぐために有効なダムは必要であり、その建設手法の中で環境保全等に配慮すべきと考えます。</p> <p>安心して暮らすためには一刻も早いサンルダムの完成が不可欠であることを強く要望し終わりと致します。</p>					
平成18年5月16日 音威子府村  (男、51歳)					

※  箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています